

珠算検定試験のイメージ

～検定試験には成長ごとにゴールがある～

そろばん学習では努力することで成長ができ、それが次の自信につながります
ビーカーが注がれた水で一杯に近づいたら検定試験に挑戦し、受験合格ののち
次の大きさのビーカーに水をためて、さらなる成長を続けていきます

★ビーカーの大きさ⇒ 学習内容の難易度（取得級位）

★ビーカーにたまる水の量⇒ 学習による技術能力の習得・定着具合
蒸発（忘却）により、量が減ることもある

★蛇口から出る水の量⇒ 学習の練習量

★蛇口をひねる回数⇒ 学習の頻度



ビーカーに効率良く水をためる一例

わずかな水量でも 5日間注ぐ > 勢いある水量を2日間のみ注ぐ

⇒わずかな水量でも習慣的に注ぎ続けることで、蒸発などの無駄も少なく
ビーカー内に効率良く水を満たすことが出来る結果につながる
(継続は力なり)



10・9級

8級

7級

6級

5級

4級

3級

2級

1級

有段者（段位）はビーカーも巨大で
どれだけ水をためられたかによって
昇段認定を受けます
(=珠算名人)